

発展めざましいソウル

韓国親善訪問記

ワールドウォッチングサークル企画による韓国親善訪問旅行を昨年12月4日(木)から7日(日)まで、一般募集による参加者16人で実施いたしました。その印象を報告いたします。

ワールドウォッチングサークル 尾崎年昭

ソウル事情

私にとって韓国は2回目の訪問である。ソウルの銀座と呼ばれている明洞(ミョンドン)も、原宿に匹敵する仁寺洞(インサドン)も若者向きのブティックや趣味の店、高級レストランなどが軒を連ね、活気に満ちあふれている。発展めざましく前回の面影はない。現地の人に道を尋ねてみた。身振り手振りで親切に教えてくれる。なかには日本語で話してくれる人もいた。

朝早くホテル周辺を散策した。ソウル中心地から東へ約1km離れた所で、こじんまりした印刷屋が集中している。夜明け前というのに機械が動いている。電灯の下で印刷用紙を整えている人の姿も見える。隣の青果店も白菜や大根を小型貨物車に積んでいる。寒いのに汗をかきながら動き回っている。交差点ごとに設置されているごみ集積所では、清掃局職員がごみを整理し収集車に積み込んでいる。これが夜明け前のソウルの光景である。人々のエネルギー溢る姿をかいま見た。



キムチ作りに挑戦



農協中央会直営スーパー前にて

キムチ作り

今回の旅行の目当ては、現地婦人会との交流である。歓迎、答礼の言葉を交わし、当協会の活動内容を紹介した後、韓国のだどの家庭でも食べている最も代表的な白菜キムチの作り方を教えてもらった。食材として用いた白菜は日本のものより丈が短く、また、大根は数倍も太かった。作ったばかりのキムチを試食しながら、日韓両国でヒットしているSMA Pの「世界に一つだけの花」を合唱し交流を深めた。豊川観光音頭は踊りやすく、現地の女性も輪に入ってくれた。和やかな雰囲気を楽しみひとときを過ごした。

農協中央会直営スーパー

「田にはカエルとバッタが跳び、小川にはメダカとザリガニが泳ぐ---、そんなきれいな自然の中で思いっきり遊べる環境をつくりたい」

これは韓国農協中央会直営スーパー「ハナロクラブ」でいただいた概要書のグラビアのことばである。

ハナロクラブは、大規模な店舗と大駐車場を有し、農産物、食品、花などを定価の2割引前後で販売している。多くの買物客で賑わい、大量に売買されている。

「中央会は、流通経路を能率化し、生産者には適正な価格補償を、消費者には低価で新鮮な農産物を供給して

情報・安心・交流の拠点

あなたの郵便局

豊川市内郵便局

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株)林電工

恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 (0533) 85-9977

